

# インドアクライミングセンタークラックス大阪店

## 施設利用規定&注意事項

安全で楽しくクライミングができるよう、以下の施設利用規定を設けております。

利用される方はこの規定を厳守してください。

### 1. 施設利用資格

当施設の趣旨であるフリークライミングを行う人で、各項の全てに該当する方とします。

- 施設利用規程、注意事項、スタッフの注意を理解し厳守して頂ける方。
- 「施設利用にあたっての合意事項」を全て理解されている方。
- 健康状態に異常の無い方。
- 中学生以下の場合、保護者が同伴している方。
- 高校生以下の場合、保護者の承諾書と施設利用にあたっての合意事項を提出して頂いている方、または顧問の先生が同伴している方。

### 2. ご利用にあたっての規定

- 施設内での火気の取り扱いは禁止です。喫煙は指定の場所で行います。
- 手記を帯びた方のご利用や、施設内での飲酒はご遠慮ください。
- ゴミは各自お持ち帰りください。
- ジムで使用するチョークはチョークボールまたは液体チョークをご利用ください。
- 着替えは2Fにある更衣室をご利用ください。
- 貴重品は各自保管するか、受付にお預けください。
- クライミングギアを施設内の置場所に残置されている方は紛失や盗難の責任は負えません。
- ロープクライミングエリア、ボルダリングエリア、2F ストレッチテラスは土足禁止です。
- クライミングウォールの下にはクライマーとビレイヤー以外は立ち入らないでください。
- 飲食は1Fや2Fにある休憩コーナーで行います。
- 駐車スペースに限りがあります。
- 路上駐車は厳禁です。満車の場合は近隣の有料駐車場をご利用ください。

### 3. クライミングジムをご利用頂く際の注意事項

#### ★ クライミング用具

- ロープ、ハーネス、シューズ、確保器等の用具はフリークライミング用の物を使用してください。
- 確保器はなるべくチューブラータイプ(ATC等)をお使いください。GriGriも可。
- ロープはシングル用で25m以上のものをお使いください。

#### ★ ロープを使ったクライミング

- 初心者/初級者だけのご利用はできません。(スクール受講生は除く)
- ハーネスのウェストベルトの折り返しを必ず行ってください。
- ロープをハーネスの正しい位置に8字結びで直接結んで末端処理を行ってください。ロープの結び目、ビレイのセッティングは登り始める前に必ず再チェックしてください。
- ビレイヤーは必ず適切な確保器を正しい位置にセットし、カラビナの安全環をロックしてください。ビレイは必ず壁の側で行ってください。
- リードする場合、正確にプロテクションが取れないと危険です。クリップの練習を充分行い、確実に習得してからリードをしましょう。

- リードの場合、ルートのクリップポイントを事前に確認し、全てのクリップをして下さい。
- 落ちる際にカラビナは掴まないでください。
- 隣接するルートを他のクライマーが登っている時は登るラインやフォールラインが干渉しないか確認してから登り始めてください。
- 混雑時に長時間のハングドックやトップロープは極力遠慮ください。
- トップロープを行う場合は支点を必ず最低2カ所以上とってください。
- 終了点の2本の支点でトップロープを行う際はロープをクリップするカラビナのゲートが左右逆になるようにクリップしてください。
- フリーソロは禁止です。

#### ★ ビレイ

- 正しいビレイ方法を理解している事が必要です。練習と経験を積んで必ず習得してください。
- ビレイは必ず壁の側で行ってください。しかしクライマーが墜落した際に衝突する場所は避けてください。
- ロープは必要以上に弛ませないようにしてください。
- 常にクライマーから目を放さないように注意し、ビレイに集中してください。
- 熟練者以外、体重差が20kg以上あるクライマーのビレイは避けたほうがよいでしょう。

#### ★ ボルダリング

- 同じ面を他のクライマーが登っていないことを確認してから登り始めてください。
- 登る課題の下に人がいないことを確認してから登ってください。衝突の危険性があります。
- 待っている時や見ている時はクライマーの下に入らないようにしてください。
- マットに飛び降りる時は下を確認し、安全な姿勢をとってから落ちるようにしてください。
- 熟練者以外、体重差が20kg以上あるクライマーのビレイは避けたほうがよいでしょう。
- マットの上に飛び降りても、足首の捻挫や骨折の危険性は存在します。マットがあることを過信しないで余裕をもって飛び降りるように充分注意してください。

#### その他の注意事項

- ホールドは突然回転したり、割れたりする可能性がありますのでご注意ください。
- ボルトやホールドのゆるみ、プロテクションやトップロープの傷み、その他少しでも危険と思われる事がありましたら、必ずフタッフにお知らせください。
- カラーテープが剥がれた際にはスタッフにお知らせください。
- 2Fのクライミングショップや休憩コーナーに行く際は、チョークバッグを外して頂きますようお願いいたします。またショップの商品はチョークの付いた手で触らないようご協力ください。

#### 4. 引率が必要なお子様のご利用について

- 別紙の「施設利用にあたっての合意事項」にあります自己責任の概念を理解し、行動をすることが困難な年齢のお子様(小学生以下)のご利用に関しては保護者もしくは引率者の方も一緒にご利用頂くことをおすすめしています。
- お子様が他のお客様の迷惑となるような行動をしないよう、また事故を起こさないよう監視して下さい。  
例) 場内を走り回る。他者との衝突の可能性がある場所に座り込む。クライミングエリア内で飲食等。
- お子様が危険な体勢で墜落しないよう、常に側にいて注意してください。
- お子様と一緒にご利用の場合、保護者の方が登っている間はお子様を安全な場所で待機させて下さい。

## 5. お子様連れの方

- 基本的にクライミングをなさらないお子様はクライミングエリアには入れません。同伴の方は常にお子様から目を離さないように注意してください。特に 2F テラスの手すり付近に近寄らないよう監視をよろしくお願いいたします。

## 6. 中高生の部活動でのご利用に関して

- 団体でのご利用に関しては別紙の注意事項を守ってご利用ください。

上記利用規定、注意点、及びスタッフの指示に従って頂けない場合はご利用をお断りすることもございます。マナーを守り、安全にクライミングができるよう、皆様のご協力をお願い致します。

## 施設利用にあたっての合意事項 (○印にてチェックしてください。)

当施設はフリークライミング(ボルダリング&ロープクライミング)を行う施設です。フリークライミングには潜在的に死亡も含む重大な事故に繋がる危険が常に伴います。以下の項目を全て理解した上でご利用頂く必要があります。

### ボルダリングについて

ボルダリングとは高さが比較的低い壁(一般的に1~5m)を、ロープを使わず行うフリークライミングです。クラックス大阪店には高さが約4mの壁が設置されています。ボルダリングは落ちると必ず地面まで墜落します。フロアは着地の衝撃を和らげるマットになっていますが、安全が確保されている訳ではありません。着地体勢によっては捻挫、打撲、骨折、死亡事故に繋がる可能性があります。両足で安全な体勢をとって着地するよう心がけてください。 (理解した)

墜落の際に他の利用者と衝突する危険性があります。登っている時や着地の際には下に人がいないか必ず確認し、接触が考えられる場合は声をかけたり、途中で登ることを中断する等、事故を避けるよう努めてください。また逆に登っている人の下や墜落してくるライン付近にいると衝突事故に繋がります。クライミングエリア内に入った際は常に周りの壁とクライマーを観察し、クライマーが落下してくる位置を予測して衝突しない位置で待機してください。 (理解した)

### ロープクライミングについて

当施設には高さ約10mのロープの使用が義務づけられたクライミングウォールがあります。ロープで確保されていますが、すべての危険は排除できません。墜落により、捻挫、打撲、骨折、裂傷、死亡事故等の事故に繋がる危険性は常に存在します。クライマーとビレイヤー共にお互いの動作に注意をしてください。 (理解した)

ロープを使うエリアでのクライミングはリードクライミングとそのビレイ方法を熟知し、危険回避を常に意識できる経験者がいないとご利用頂けません。初心者のみでのご利用はできません。 (理解した)

### 自己責任のスポーツ

フリークライミングは事故(死亡も含む)に繋がる危険を伴うスポーツです。そのリスクを理解した上で、自ら危険を回避しながら登らなければなりません。クライミングとは「自己責任」の上に成り立っているスポーツであることを理解してください。 (理解した)

当施設の利用は、本人及び保護者の決定に基づく自主的なものである。 (はい)

事故の起きる可能性は内容により様々ですが、過去に実際に下記のような事故が起きています。(参考まで)

\* 墜落時に着地に失敗し捻挫。 \* 補助マットの端に着地し靭帯裂傷。 \* 飛び降りた際に下にいた人と衝突し打撲。 \* ホールドが回転し墜落し打撲。 \* 子供が場内で周りに注意せず走り、落ちて来た人と衝突し打撲。 \* 墜落した際にホールドで頭部を打ち出血。 \* 墜落した際にホールドで肘を打ち骨折 \* 過剰な指への負荷による指関節の炎症。 \* 肩から墜落し、脱臼。 \* 着地で手をついて手首を骨折。リード中フォールして壁に激突し骨折や頭部裂傷。

上記について理解しました。 署名： \_\_\_\_\_ 印

日付 \_\_\_\_\_

(ご利用者が未成年の場合は保護者の方の署名と捺印が必要です。)